

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 CKD株式会社

上場取引所 東・名

コード番号 6407 URL <http://www.ckd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 舟橋 典孝 (TEL) 0568-74-1006

四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	20,776	△12.0	1,648	△26.7	1,546	△33.0	1,093	△31.3
28年3月期第1四半期	23,604	24.6	2,249	47.9	2,309	45.9	1,590	48.7

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △678百万円(-%) 28年3月期第1四半期 1,989百万円(144.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	17.66	—
28年3月期第1四半期	25.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	96,815	64,936	67.1
28年3月期	96,412	66,419	68.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 64,936百万円 28年3月期 66,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,000	△7.0	3,100	△28.1	3,100	△26.9	2,100	△28.2	33.92
通期	87,000	△1.3	7,200	△11.2	7,200	△11.1	4,800	△12.1	77.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	68,909,449株	28年3月期	68,909,449株
29年3月期1Q	6,992,315株	28年3月期	6,992,315株
29年3月期1Q	61,917,134株	28年3月期1Q	62,308,877株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	9
〔生産、受注及び販売の状況〕	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高進行を受けた企業収益の下振れや在庫調整などで足踏み状態となりましたが、設備投資は更新・維持を中心に底堅く推移いたしました。

海外経済は、米国では雇用と所得の改善による個人消費の増加で堅調に推移し、欧州においても金融緩和政策などにより緩やかに回復いたしました。一方中国では、公共投資や個人消費の拡大がありました。民間投資の低迷により、景気は減速基調となりました。

このような状況のもとで、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、将来に向けた設備投資による減価償却費の増加や退職給付費用の増加及び為替差損を計上したことにより、売上高20,776百万円（前年同四半期比12.0%減）、営業利益1,648百万円（前年同四半期比26.7%減）、経常利益1,546百万円（前年同四半期比33.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,093百万円（前年同四半期比31.3%減）となりました。

なお、前連結会計年度については、海外連結子会社5社の決算日を連結決算日に変更したことに伴い、前第1四半期連結累計期間は6か月となっております。この決算期変更に伴う影響を除いた売上高は前年同四半期比0.9%増、営業利益は前年同四半期比21.5%減、経常利益は前年同四半期比28.6%減となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

産業機械では、三次元はんだ印刷検査機は電子化が進む車載用基盤やLED照明用基板向けの売上が増加、リチウムイオン電池製造システムは前期受注した環境対応車両向けの物件で売上が増加いたしました。

自動包装システムでは受注は増加いたしました。売上は横ばいとなりました。

その結果、売上高は3,019百万円（前年同四半期比9.8%増）、セグメント利益は減価償却費増加の影響もあり、129百万円（前年同四半期比58.4%減）となりました。

② 機器部門

国内市場では、微細化や積層化への投資が続く半導体製造装置向け、環境対応車両への投資が進む二次電池製造装置向けの売上が増加いたしました。

海外市場では、中国は情報通信機器や二次電池製造装置向け、台湾は半導体製造装置向けの売上が好調でしたが、円高の影響により全体の売上は減少いたしました。

その結果、売上高は17,757百万円（前年同四半期比14.8%減）、セグメント利益は2,436百万円（前年同四半期比9.8%減）となりました。

なお、決算期変更に伴う影響を除いた売上高は前年同四半期比0.4%減、セグメント利益は前年同四半期比4.5%減となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ403百万円増加の96,815百万円となりました。これは主に、現金及び預金、有価証券並びに有形固定資産が減少したものの、売上債権、たな卸資産、前渡金及びソフトウェアが増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,886百万円増加の31,878百万円となりました。これは主に、設備未払金及び未払法人税等並びに繰延税金負債が減少したものの、仕入債務及び前受金並びに賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,483百万円減少の64,936百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ1.8ポイント減少の67.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では第2四半期連結累計期間及び通期の予想につきましては、平成28年5月12日に発表いたしました業績予想からの変更はございません。

ただし、次期の国内外経済は、概ね緩やかな回復が見込まれるものの、中国を始めとする新興国の景気減速、英国の欧州連合離脱問題の深刻化、中東情勢の緊迫化、為替レートの変動が及ぼす影響に注視していく必要があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,951	9,486
受取手形及び売掛金	21,186	20,664
電子記録債権	1,905	3,746
営業未収入金	1,150	621
有価証券	2,000	1,000
商品及び製品	4,673	5,036
仕掛品	3,669	4,090
原材料及び貯蔵品	12,178	12,610
その他	2,358	2,994
貸倒引当金	△103	△95
流動資産合計	58,969	60,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,304	11,757
その他(純額)	15,408	15,168
有形固定資産合計	27,712	26,925
無形固定資産		
投資その他の資産	8,974	8,647
固定資産合計	37,442	36,660
資産合計	96,412	96,815
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,873	12,175
電子記録債務	920	1,370
短期借入金	1,671	1,590
未払法人税等	1,463	903
賞与引当金	178	1,140
その他の引当金	225	242
その他	7,319	8,474
流動負債合計	23,652	25,896
固定負債		
長期借入金	2,720	2,590
その他の引当金	76	76
退職給付に係る負債	226	221
その他	3,316	3,093
固定負債合計	6,339	5,982
負債合計	29,992	31,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,372	12,372
利益剰余金	44,445	44,734
自己株式	△4,905	△4,905
株主資本合計	62,929	63,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,105	2,750
為替換算調整勘定	1,808	350
退職給付に係る調整累計額	△1,423	△1,382
その他の包括利益累計額合計	3,490	1,718
純資産合計	66,419	64,936
負債純資産合計	96,412	96,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	23,604	20,776
売上原価	15,977	14,424
売上総利益	7,626	6,352
販売費及び一般管理費	5,377	4,703
営業利益	2,249	1,648
営業外収益		
受取利息	12	7
受取配当金	64	63
その他	68	63
営業外収益合計	144	134
営業外費用		
支払利息	15	10
売上割引	34	34
為替差損	25	185
その他	9	6
営業外費用合計	84	236
経常利益	2,309	1,546
特別利益		
固定資産売却益	15	0
補助金収入	66	55
特別利益合計	81	56
特別損失		
固定資産売却損	1	2
固定資産除却損	14	6
固定資産圧縮損	—	54
特別損失合計	16	63
税金等調整前四半期純利益	2,373	1,539
法人税、住民税及び事業税	951	870
法人税等調整額	△168	△423
法人税等合計	782	446
四半期純利益	1,590	1,093
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,590	1,093

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,590	1,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	217	△354
為替換算調整勘定	220	△1,457
退職給付に係る調整額	△39	40
その他の包括利益合計	398	△1,771
四半期包括利益	1,989	△678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,989	△678
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,750	20,853	23,604	—	23,604
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	16	16	△16	—
計	2,750	20,870	23,621	△16	23,604
セグメント利益	311	2,702	3,013	△764	2,249

(注) 1. セグメント利益の調整額△764百万円には、セグメント間取引消去8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△772百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった在外子会社(5社)については同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行ってまいりましたが、CKD THAI CORPORATION LTD.、CKD USA CORPORATION、M-CKD PRECISION SDN. BHD. については決算日を3月31日に変更し、喜開理(中国)有限公司、喜開理(上海)機器有限公司については連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。その結果、当第1四半期連結累計期間は平成27年1月1日から平成27年6月30日までの6か月間を連結しております。

なお、当該子会社の平成27年1月1日から平成27年3月31日までの売上高は機器部門で3,019百万円、セグメント利益は機器部門で149百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,019	17,757	20,776	—	20,776
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	18	18	△18	—
計	3,019	17,776	20,795	△18	20,776
セグメント利益	129	2,436	2,565	△917	1,648

(注) 1. セグメント利益の調整額△917百万円には、セグメント間取引消去8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△925百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	3,519	△27.8
機器部門	17,582	△15.0
合計	21,102	△17.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	5,285	+52.6	13,404	+44.5

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	3,019	+9.8
機器部門	17,757	△14.8
合計	20,776	△12.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。